

新しい 人材活用 プロシエアリング

外部プロ人材 活用成功事例



(株)サーキュレーション
代表取締役 福田 悠

No.62 飲食店のバックオフィス業務効率化を実現

プロシエアリングとは、高い職能を持って複数企業で同時に活躍するプロフェッショナルを、経営課題に合わせて「雇用」ではなく「活用」という、新しい人材活用の手法です。2014年の設立以来、サーキュレーションには30,000名以上のプロが登録し、21,000件以上のプロジェクトで実績を上げてきました（2025年4月末時点）。プロジェクトは経営要素の強い案件が多く、新規事業の企画推進や、人事・広報等のミドルオフィス支援、さらにはIPO関連から中期経営計画の策定、CFOのシェアなども実行しています。

店舗数・業態の拡大に伴い 従業員も急増・急成長

今回は、株式会社閣様（以下、同社）が、プロ人材とバックオフィス業務効率化およびデータ一元化プロジェクトに取り組んだ結果、システムの連携が実現し運用段階に移行したプロシエアリング活用事例をご紹介します。

同社は1988年に宮城県仙台市に牛タン料理専門店として創業。2代目社長就任後、2015年に株式会社化し、現在は「牛たん料理

閣」「チョコレートな関係」「チョコレートな関係 cafe&cake」「山の洋食屋ざびえる」といった多ブランドの外食事業を展開しています。店舗数や業態を拡大した結果、当初は30人程度だった従業員数は約200人規模へと急増していました。

課題 バックオフィスの効率化 リアルタイムの損益管理

同社では、店舗数や従業員数の急増に伴い、会計・労務管理等のバックオフィス業務や店舗での事務作業が増大・非効率化しており、少人数体制での負担が課題となっていました。特に、各店舗の閉店後に行う売上・費用等のデータ入力や、経理担当が行う毎月の給与計算作業が膨大で、効率化が求められていたのです。過去には会計システムの導入に挑戦したものの、サポート不足などから断念した経験があり、必要性は理解しつつも導入に迷いがありました。

また、経営陣はリアルタイムでの損益管理を求めていましたが、社内にはシステムの導入・活用を推進する知見がなく課題を抱えた状態が続いていました。そのような状況下、必要な時に専門性の高い人材を雇用せず活用できる「プ

ロシエアリング」に出会いました。

解決策 業務に適合したシステム 選定と導入定着サポート

サーキュレーションからはプロ人材のご紹介とともに「システム連携による業務効率化とデータの一元化支援」という解決策をご提案しました。

今回ご推薦したプロ人材は2名。

小田川潤氏は、建材メーカーでのフィールドセールス、上場企業ICT部門の事業部長を経て、コンサル系スタートアップへ転職。現在は同企業の役員を務めつつ、仙台市で株式会社ウィズグロースを設立し、代表を務めています。建設業のバックオフィス業務を50%効率化し、売上150%増を達成、廃棄物収集運送業の在庫管理システムPoC構築などの実績があります。属人化という業界課題に対して、DX推進を強みとして支援を行っています。

相澤真也氏は、金融機関、英語教育企業、医療介護施設でセールスやコンサルティング業務を経験後、コンサル系スタートアップへ入社。現在は株式会社ウィズグロースの営業本部長兼コンサルタントとして、宮城県を中心に東北・北海道地域を担当し、DX推進、業

■福田 悠

中央大学理工学部を卒業後、インテリジェンス（現パーソルキャリア）へ入社。製造業を中心とした約 600 社の人材採用を支援。大手法人顧客専門部門を経て、同社初となる社内ベンチャーの立ち上げに携わる。2014 年、サーキュレーションの創業に参画。中小企業や製造業大手顧客を担当しながら、地方金融機関とのアライアンス、地方 7 拠点の設立を主導。2023 年 4 月より代表取締役社長に就任。

■株式会社サーキュレーション

本社：東京都渋谷区神宮前 3-21-5 サーキュレーションビル ForPro

TEL：03-6256-0467 URL：https://circu.co.jp/

成功事例

- ：
No.57 専門人材の採用力を高め、適材確保とコスト半減に成功
No.58 起案者をサポートし、社内ベンチャー制度を成功へ導く
No.59 社員と会社の成長を支える人事制度の刷新に成功
No.60 品質管理の仕組みを構築し、不適品廃棄を改善
No.61 AIペットロボット「Moflin」の事業化に成功
No.62 飲食店のバックオフィス業務効率化を実現
：

務効率化支援を手掛けています。

●現状分析

プロジェクトでは、まずはバックオフィス業務のヒアリングと分析を行いました。

●システム選定

続いて、複数メーカーのシステムをピックアップし、デモンストレーションの比較検討をサポート。同社の業務フローに合わせた機能やサポート体制を重視して最適なシステム選定を支援しました。

●システム導入と連携設計

システム導入時には、会計を核とした、関連システム（POSレジ、勤怠管理、給与計算等）の連携設計を行いました。

●運用開始・定着サポート

システム導入後は同社担当者による日常業務が軌道に乗るまで、プロ人材がサポートを続けました。さらにシステム連携によって可能になる事業・業務の未来図を示し、今後の事業発展・企業成長に合わせたシステムの選択肢を提示しました。

成果

**事務作業50%削減見込み
店長が人を育てる余裕も**

同社はプロシェアリングの活用により、システム導入によるバックオフィス業務効率化とデータの一元化を決断し、会計システムの選定・導入に至りました。これに連携するPOSレジ、勤怠管理、給与計算などのシステム化の道筋



左：株式会社閤 人事担当 澤田 由香里様
中央左：プロ人材 小田川 潤氏
中央：同社 女将 中田 和子様
中央右：同社 経理担当 津々良 智恵様
右：プロ人材 相澤 真也氏

も開けました。具体的には以下の3つの成果を実感されています。

- ①レジ内容や勤怠情報の手入力作業の削減により事務作業工数は50%削減の見込み
- ②すべてのデータが会計システムに集約されたことで、経営情報のリアルタイム化と一元管理が可能に
- ③システムによって事務作業が軽減されたことで店長が本来の業務へ専念できるようになり、人材育成が促進された

プロシェアリング×業務効率化プロジェクトでのご支援ポイント

自社の成長基盤を創るために、自社内で推進できる人材の確保に向けて社内異動や兼務、採用活動を強化する方法がある一方で、実際に各分野での支援実績が豊富な

人材に伴走してもらうことも非常に効果的だと感じられる事例です。また、社内メンバーの人脈以外でプロ人材を探す手段として、業務委託での支援を通じてアドバイザーになってもらう方法があります。雇用する場合と比較してミスマッチなどのリスクを低減できる点も有効な手段となりえます。

社内に点在するあらゆるデータの一元化をできる人材というのは、実際に採用するとなると非常に希少価値が高く、採用が長期化することも考えられます。仮に良い人材に出会えたとしても、採用競争となる企業が多かったり、給与が高くなったりする傾向があります。そのような人材を採用したいという要望があった場合はプロシェアリングの活用を検討・提案してみてもいかがでしょうか。